第 1 章

通信とインターネットをはじめる前に

カメラを使ってできること

カメラ（本製品）でインターネットやほかの通信機能を利用すると、次のような便利な機能を使うことができます。

インターネット機能を使う

●電子メールで画像を送信する

電子メールを送信したり、受信したりすることができます。メールには、画像などのファイルを添付して送信することもできます。

→ P.75「メールに添付して送信する」→ P.89「メールを使う」

補足 ・簡単な操作で画像を送信できる「クイック送信」も用意されています。
→ P.71「クイック送信を使って送信する」

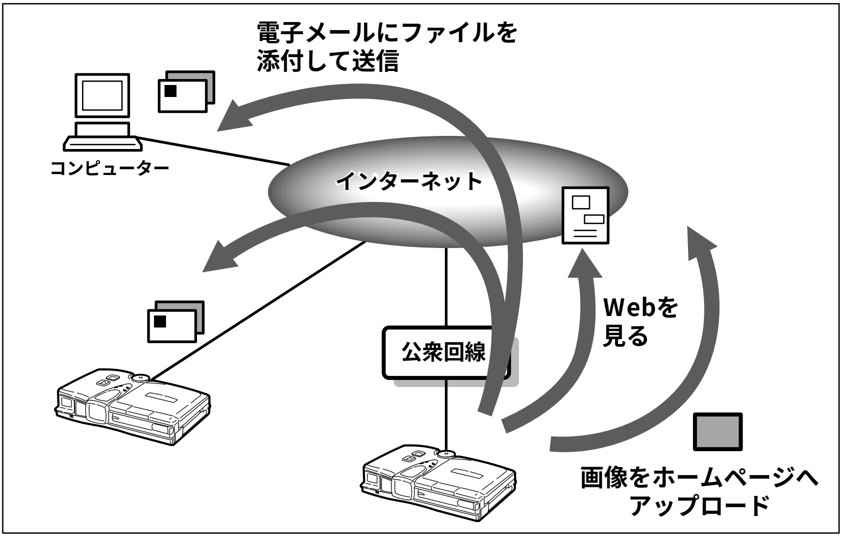
●画像をホームページにアップロードする

画像を埋め込んだHTMLファイルをホームページのサーバー（コンピューター）にアップロード（送信）することができます。複数の人々に画像を見て欲しいときなどに使います。→ P.114「HTML ファイルをアップロードする」

● Web を見る

カメラに用意された Web ブラウザ（ホームページを見るソフトウェア）を利用して、インターネット上の Web（ホームページ）を見ることができます。

→ P.105「Web を見る」



ほかの通信機能を使う

●コンピューターに画像を送信する

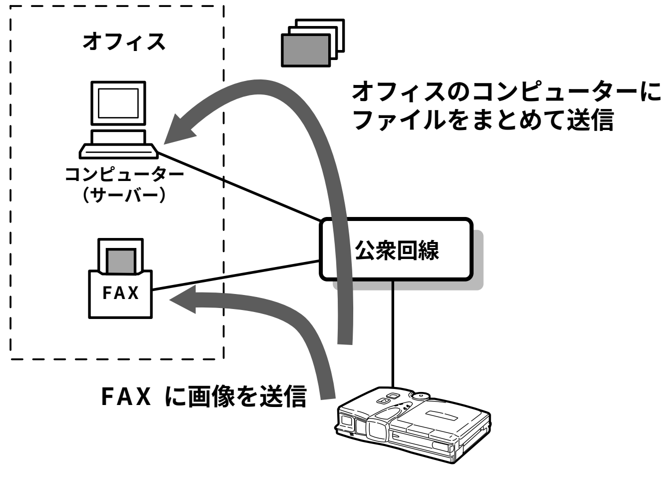
カメラに記録した画像を、コンピューター（サーバー）内のフォルダーにダイレクトに送信することができます。外出先で撮影した画像をオフィスにまとめて送信するときなどに使います。

→P.73「コンピューターにダイレクトに送信する」
→P.99「ダイレクト送信を使う」

● FAX に画像を送信する

文字モードで撮影した画像を FAX に送信することができます。電子メールを送ることのできない相手に画像を送信するときなどに使います。

→P.80「FAX に送信する」→P.102「FAX 送信を使う」

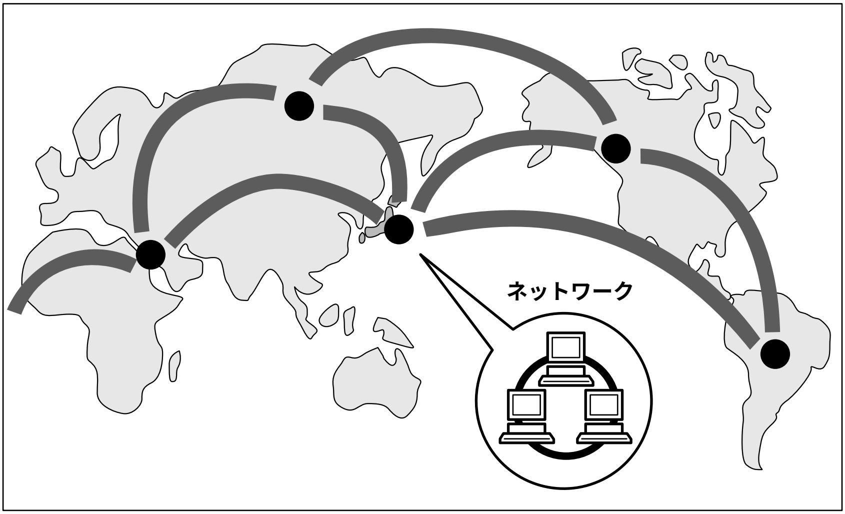


インターネットについて

ここでは、インターネットを使って、本製品でできることやインターネットのしくみについて説明します。

インターネットとは

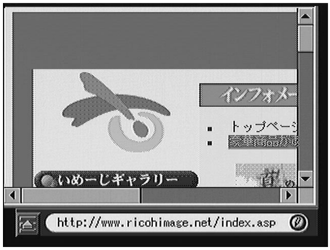
コンピューターとコンピューターをつないだものをコンピューターネットワークといいます。世界中には数多くのネットワークが存在しています。これらのネットワークは相互に接続されています。この接続された世界最大のコンピューターネットワークが「インターネット」です。



インターネットを使ってできること

●ホームページから情報を入手する

インターネットのホームページでは、各種機関や企業、個人などがさまざまな情報を公開しています。このホームページには、文字情報だけでなく、画像、音声、動画なども掲載されています。インターネットに接続すれば、このような情報を自由に見る（閲覧する）ことができます（本製品では、文字と画像情報のみを見ることができます）。



補足 ・ホームページには、WWW（World Wide Web）または単にWeb（ウェブ=「蜘蛛の巣」という意味）と呼ばれる情報システムが使われています。Webの情報はページの形で提供されており、このWebページの入り口の役割をするのがホームページです。

●電子メールでコミュニケーションをとる

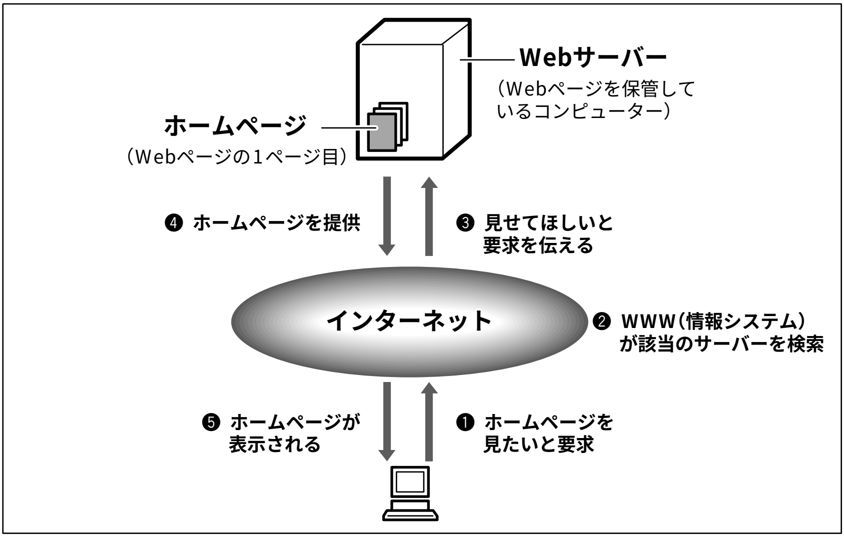
電子メールはインターネットなどを利用してメッセージ（メール=手紙）を交換するシステムです。インターネットと接続している人であれば誰とでも、自由にメッセージを送ったり、受け取ったりすることができます。どんなに遠くに住んでいる人に送ってもメッセージがすぐに届くのが特徴です。基本的にやりとりするのは文字情報ですが、画像なども一緒に送ることができます。

インターネットのしくみ

ホームページの情報を見るしくみと電子メールを送受信するしくみについて、簡単に説明します。

●ホームページのしくみ

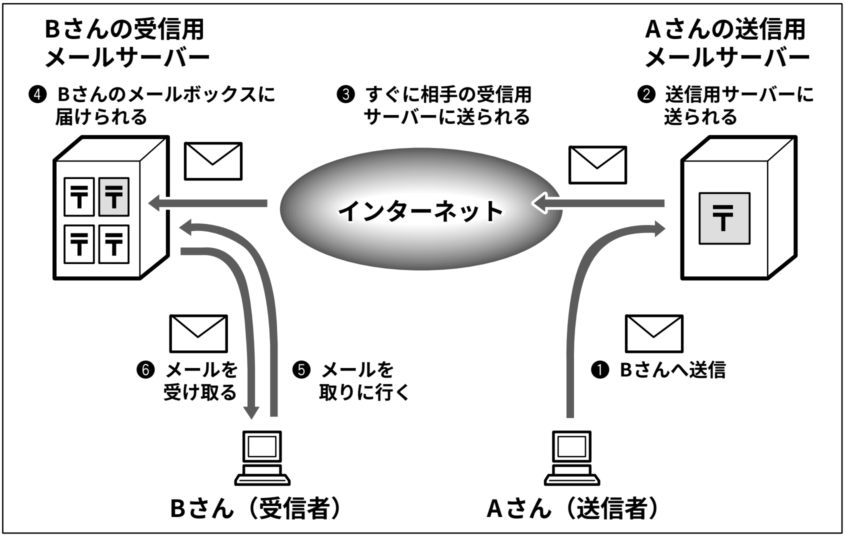
ホームページを見たいと要求すると、要求はインターネットを経由して該当のホームページが保管されているサーバーに届きます。サーバーは要求に答えてホームページの情報を提供します。



●電子メールのしくみ

送信側：送信したメールは送信用のメールサーバーにいったん送られます。ここからインターネットを経由して相手の受信用のメールサーバーに届けられます。受信用のメールサーバーにはひとりひとりにメールボックスが用意されており、メールはここに保管されます。

受信側：受け取り人（受信者）が受信用のメールサーバーにメールを受け取りにいくと、自分のメールボックスからメールを受信することができます。



インターネットの接続に必要なもの

インターネットに接続するには、カメラ以外に次のものが必要です。ホームページを見たり、電子メールを使うためのソフトウェア（機能）は、あらかじめカメラに用意されています。

●通信カード（別売り）

カメラにセットして、通信やインターネット機能を使えるようにするためのPCカードです。詳しくは第3章で説明します。→P.55「通信機器を接続する」

●電話回線、電話機

お使いの環境によって、電話回線、携帯電話、PHSなどを用意します。
詳しくは第3章で説明します。→P.55「通信機器を接続する」

●プロバイダーから入手する情報

インターネットに接続するための電話番号やアカウント名（契約者名）、パスワードなどの情報です。

プロバイダーについて

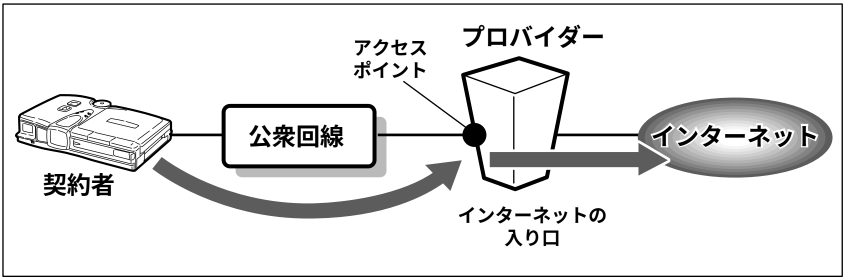
●プロバイダーとの契約

プロバイダーは、インターネットへの接続サービスを提供している会社です。インターネットを利用する場合は、プロバイダーとの契約が必要です。契約をすると、接続に必要な情報が提供されます。

補足 ・企業内ですでにインターネットの環境が用意されている場合は、プロバイダーと契約する必要はありません。この場合、接続に必要な情報についてはシステム管理者にお問い合わせください。

●アクセスポイント

契約者はプロバイダーが用意したアクセスポイントという中継地点に電話をかけて、そこを経由してインターネットに接続します。



重要
・プロバイダーには、利用量に応じた接続料を支払います。それとは別に、アクセスポイントまでの通信料は、電話会社（NTTなど）に支払う必要があります。
・プロバイダーにはそれぞれ独自のサービスがあり、その内容によって料金体系が異なります。最新のプロバイダー情報については、インターネット関連の雑誌などをご覧ください。

ダイヤルアップ接続について

インターネットを利用するときだけダイヤルして（電話をして）接続することを「ダイヤルアップ接続」といいます。通常、本製品を使ってインターネットに接続するときは、このダイヤルアップ接続で行います。ダイヤルアップ接続をするためには、あらかじめアクセスポイント（電話をかける先の電話番号）などの情報を設定する必要があります。→P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

補足 ・「ダイヤルアップ接続」に対して、常にインターネットに接続されている状態を「専用線接続」といいます。

全体の流れ

準備から実際に通信やインターネット機能を使うまでの作業は､おおまかに次のような流れで行います。

通信の設定をする

モードダイヤルを［SETUP］（SETUPモード）に合わせ、通信の設定をします。プロバイダーやシステム管理者から入手した情報はここで使います。→P.19「第2章」

通信機器を接続する

カメラと通信機器などを接続します。接続にはいくつかの方法があります。お使いの環境に合わせて、適切な接続方法を選びます。→P.55「第3章」

ここまでが準備作業です。

次に、実際に通信を行います。

撮影後の画像を送信する

モードダイヤルを［ ▶ ］（再生モード）に合わせ、画像を送信します。送信方法にはいくつかの方法があります。目的に合わせて、適切な送信方法を選びます。→P.67「第4章」

さらに、さまざまな機能を使うとき。

通信とインターネット機能を使いこなす

モードダイヤルを［ ✉ ］（通信モード）に合わせ、通信機能やインターネット機能を使います。画像を送信するだけでなく、画像を受信したり、インターネットのさまざまな機能を活用できます。→P.87「第5章」